

# 鴨川市男女共同参画推進審議会 令和5年度 第1回会議 次第

日時：令和6年3月25日（月）

午後3時

場所：市役所4階400会議室

## 1 開 会

## 2 委嘱状交付

## 3 市長挨拶

## 4 会長、副会長の選任

## 5 議 事

（1）第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績について

（2）男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について

（3）男女共同参画に係るセミナーの実施結果について

（4）千葉県男女共同参画地域推進員 令和5年度活動報告について

（5）その他

## 6 閉 会

### [配付資料]

#### 1 会議次第

#### 2 出席者名簿（当日配付）

#### 3 席次表（当日配付）

#### 4 資料1 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)

#### 5 資料2 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果

#### 6 資料3 男女共同参画に係るセミナーの実施結果

#### 7 資料4 千葉県男女共同参画地域推進員 令和5年度活動報告書(抜粋)

# 鴨川市男女共同参画推進審議会 令和5年度 第1回会議 出席者名簿

日時：令和6年3月25日(月)

午後3時

場所：市役所4階400会議室

## 1 委員

氏名	備考
浅沼 紀子	
上野 ひろ子	
高橋 由	
立野 慶子	
角田 佐智子	

(アイウエオ順・敬称略)

## [欠席委員]

氏名	備考
石川 佳織	

## 2 市行政関係者

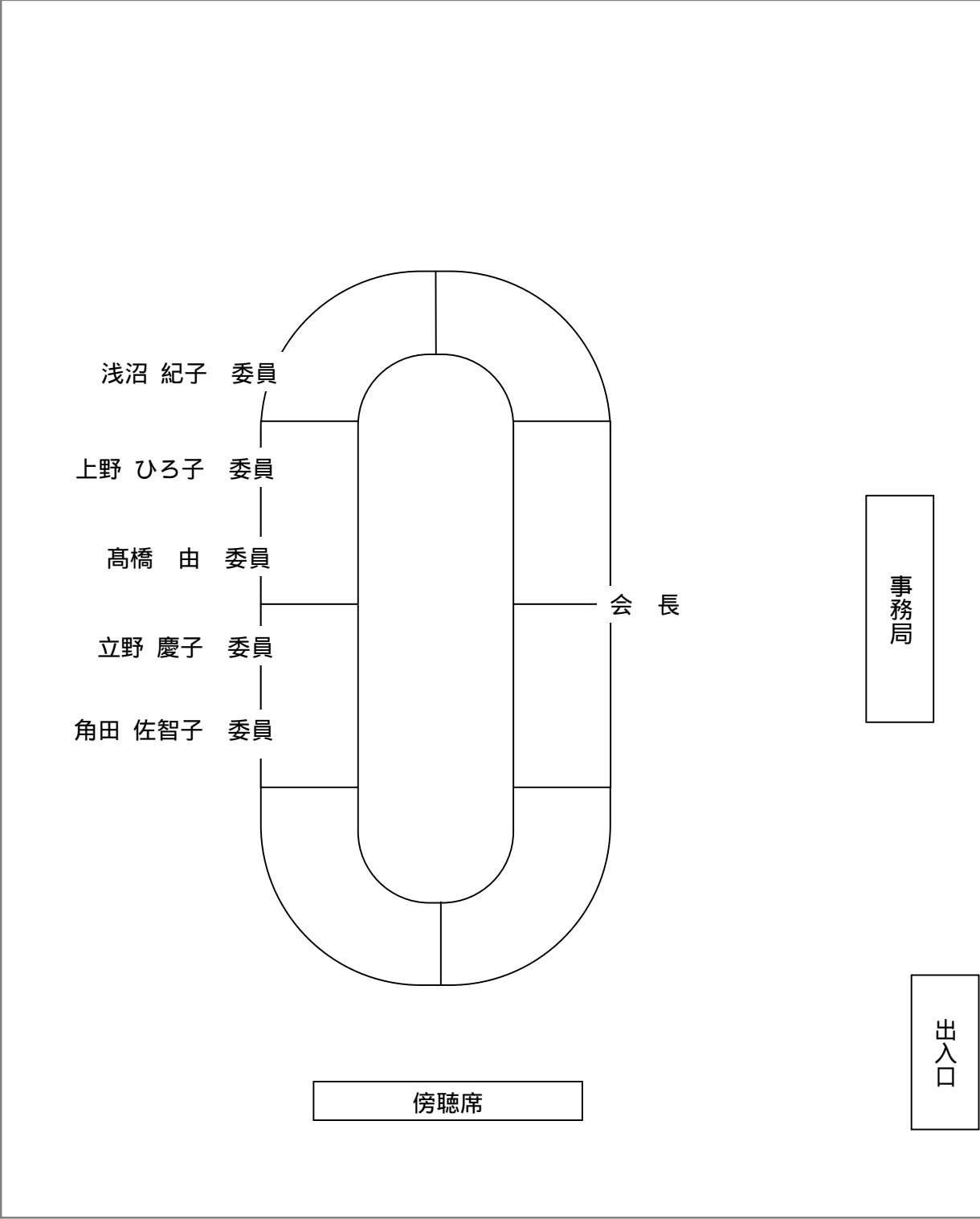
氏名	所属・職	備考
長谷川 孝夫	鴨川市長	
山口 隆司	企画総務部総務課長補佐	
内木 久美子	企画総務部総務課秘書係長	

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和5年度 第1回会議 席次表

日時：令和6年3月25日（月）

午後3時

場所：市役所4階400会議室



## 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)

資料 1

担当課による評価について

- :一定の成果や数値的な実績が見られるなど、その取組みが堅調に推移していると認められるもの
- △:具体的事業への着手は認められるものの、より一層の取組みや事業伸展が求められるもの
- ×:具体的事業に着手しているとは言い難いもの

令和6年2月1日調査時点

	事業名	事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
<b>基本目標1 人権の尊重と男女共同参画社会の実現</b>					
<b>施策の方向1 人権尊重と男女共同参画への意識改革と理解促進</b>					
<b>固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発の推進</b>					
1	固定的な性別役割分担意識等の解消に向けた意識啓発	「男らしさ、女らしさ」や「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識や慣行等の解消を図るため、意識啓発を行います。	1 男女共同参画週間事業の実施 (1)期間 令和5年6月23日から29日まで (2)場所 市役所1階市政情報コーナー (3)内容 男女共同参画啓発ポスター、DV防止啓発パネルの展示 第3次鴨川市男女共同参画計画の紹介 男女共同参画及びDV対策に関する啓発グッズ(100セット)の配架 2 中学生を対象とした男女共同参画セミナーの実施 (1)日時 令和5年11月24日 14時20分から15時20分まで (2)場所 安房東中学校体育館 (3)参加者 全校生徒、教職員等87人 (4)内容 千葉県職員による講演会 3 男女共同参画推進に係る意識啓発事業の実施 (1)市政協力員を通じ、市内全域へ啓発チラシを回覧(10/15) 回覧数1,010部 (2)「二十歳の集い」(1/7)で啓発チラシを配布 参加者201人	R4 R5 R6 R7 R8	総務課
<b>男女平等意識の醸成</b>					
2	男女共同参画に関する情報の収集と提供	男女共同参画に関連する情報や国、県、近隣自治体等の取組についての情報を収集し、市広報誌やホームページ等を通して広く市民に提供します。	1 「第3次鴨川市男女共同参画計画」を市政情報コーナーへ配架するとともに、市ホームページへ掲載した。 2 市広報誌6/15号へ「第3次鴨川市男女共同参画計画」の概要及び「男女共同参画週間」に関する情報を掲載した。 3 県や国が主催する男女共同参画に関する各種行事のチラシ等について、市主要施設に配架した。 4 県が毎月2回発行する「ちばの男女共同参画マガジン」を市ホームページへ掲載した。	R4 R5 R6 R7 R8	総務課
3	男女共同参画に関するセミナー等の開催	県などの関連団体との連携のもと、男女共同参画に関するセミナー等のイベントの開催を検討します。	1 千葉県男女共同参画地域推進員会議(南房総地域)へ出席 2 千葉県男女共同参画南房総地域推進員主催の寸劇事業の実施 (1)日時 令和5年12月21日 13時05分から14時10分まで (2)場所 袖ヶ浦市立昭和中学校体育館 (3)参加者 全校生徒549人 (4)内容 生徒とともに身近な男女共同参画を考える 3 中学生を対象とした男女共同参画セミナーの実施 (1)日時 令和5年11月24日 14時20分から15時20分まで (2)場所 安房東中学校体育館 (3)参加者 全校生徒、教職員等87人 (4)内容 千葉県職員による講演会	R4 R5 R6 R7 R8	総務課

事業名		事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
学校教育等における男女平等に関する保育・教育・学習の推進					
4	男女平等の視点に立った教育・学習の推進	学級会や児童会、生徒会といった校内組織における男女平等への配慮や、男女平等に関する歴史の学習の実施など、学校教育活動全般において、子どもの発達段階に即した教育や学習を推進します。	1 校内のあらゆる組織を男女平等の視点で見直し、必要に応じて改善を行った。 2 固定観念解消のための教職員研修を実施した。 3 男女平等の視点に立った教職員の適切な指導や言動に努めた。 4 小学校の道徳の年間指導計画の見直しを行った。 5 中学校の道徳の年間指導計画の見直しを行った。	R4	学校教育課
				R5	
5		教材等の選定にあたり、男女共同参画の視点を加味するよう努めます。	1 男女平等の視点に立った教材の選定を行った。 2 教材について、色を男女別に指定することなく、自由に選択させている。	R4	学校教育課
				R5	
				R6	
				R7	
R8					
男女共同参画の意識を高める生涯学習の充実					
15	図書館における男女共同参画に関する図書の充実	男女共同参画や「SDGs」に対する市民の正しい知識と理解を深めるため、関連図書を整備し活用を図ります。	児童室に「SDGs」関連図書のコーナーを設置し、「平等や差別」についての絵本展示を行う事で利用の増加を促した。 R5度に購入した関連図書の冊数 8冊 (R5年度購入総冊数 1,902冊) (例)『声をあげよう、社会は変えられる』林大介 / 監修・PHP研究所 『平等ってなに?』神島裕子 / 監修・PHP研究所 『Q&A DV被害者サポートブック』配偶者暴力問題研究会 / 編著・ぎょうせい	R4	生涯学習課 (図書館)
				R5	
				R6	
				R7	
R8					
16		男女共同参画や「SDGs」に関する図書の利用件数が増加するよう、展示の仕方等を工夫します。	児童室の展示スペースを利用し、11月～1月にかけて「心を大切に作る本」というテーマのもと、SDGsの「ジェンダー」や、「平等」や「平和」に関する図書の展示を行った。	R4	生涯学習課 (図書館)
				R5	
				R6	
				R7	
R8					
性的少数者への理解促進					
21	性的少数者に対する配慮の取組の推進	性的少数者への理解不足による、いじめや偏見など人権侵害を防ぎ、誰もが自分らしさを認め合える社会環境を実現するため、市広報誌やホームページ、啓発パンフレット等により性の多様性に関する理解促進に努めます。	1 県や国が主催する性の多様性に関する各種行事のチラシ等について、市主要施設に配架した。 2 県が毎月2回発行する「ちばの男女共同参画マガジン」を市ホームページへ掲載した。 3 性的少数者に対する偏見の一因となる「アンコンシャスバイアス」について理解を深めるため、市内中学生を対象にセミナーを実施した。 (1)日時 令和5年11月24日 14時20分から15時20分まで (2)場所 安房東中学校体育館 (3)参加者 全校生徒、教職員等87人 (4)内容 千葉県職員による講演会	R4	総務課
				R5	
				R6	
				R7	
R8					

事業名		事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
施策の方向2 あらゆる暴力・虐待等を許さない環境づくり					
DV等に関する対策の推進 【DV対策基本計画】					
23	DV被害者を支援する体制の充実	DV被害者の安心・安全を確保するため、関係機関と連携し、相談支援を実施します。また、DV被害者の保護と心身ケア、社会的自立を促す支援体制の充実を図ります。	1 福祉総合相談センターが中心となり、他課や警察などの関連機関と連携を図り、DV被害者への支援を行った。緊急避難支援に係る費用負担が発生しなかったため事業費は0円であった。 2 DV被害者等支援のためのマニュアルを活用した。 【相談件数 11件 延べ支援回数 42回】	R4	健康推進課
				R5	
				R6	
				R7	
24	市広報誌やホームページ等を通して相談窓口を周知します。	1 市広報誌やホームページ等に掲載し、相談窓口の周知を図った。 2 地域行事等に於いて、パンフレット等を配布して相談窓口を周知した。	R4	健康推進課	
			R5		
			R6		
			R7		
施策の方向3 人権侵害を許さない社会環境づくり					
人権に関する相談等の充実					
37	人権相談の充実	全ての人が差別なく幸せに暮らす権利を守るため、千葉地方法務局と連携し、「特設人権相談所」を市内各地区において定期的に開設します。	人権擁護委員による特設人権相談所を毎月1回、市内公共施設において開設した。相談件数0件 (1)本庁 = 4/20(金)・10/16(木)・12/18(月) (2)天津小湊支所 = 5/16(火)・8/16(水)・1/18(木) (3)吉尾公民館 = 6/16(金)・9/14(木) (4)太海公民館 = 7/19(水)・11/17(金)	R4	総務課
				R5	
				R6	
				R7	
38	千葉地方法務局との連携を密にし、人権侵犯事件が発覚した場合における調査・救済のための協力体制の整備を進めます。	人権侵犯事件の事案はなかったが、千葉地方法務局、人権擁護委員、市の連携との連携を密にし、協力体制の整備を図った。	R4	総務課	
			R5		
			R6		
			R7		
39	市広報誌及びホームページ等を通して相談窓口を周知します。	1 特設人権相談所の開設について、ホームページに年間予定を掲載した。 2 毎月1日発行の広報誌に周知記事を掲載した。 3 公共施設等へ関連するポスターの掲示やリーフレット類を配架した。 4 市内5小学校、2中学校で実施した人権教室の中で、人権擁護委員が子どもの人権相談窓口について周知した。	R4	総務課	
			R5		
			R6		
			R7		

事業名		事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
男女共同参画に関する調査・研究と、情報の収集・提供					
41	男女共同参画に関する市民意識調査の実施	男女共同参画に関する市内の実情や市民の意識の現状を明らかにするために必要な調査項目を検討し、市民意識調査を実施します。また、調査結果をホームページ等に掲載することにより情報提供・啓発を行います。	令和2年度に実施した市民意識調査の結果報告書を市政情報コーナーへ配架するとともに市ホームページへ掲載している。令和5年度は調査を実施していないが、国や県、県内自治体が発した意識調査等について情報収集に努めた。	R4 R5 R6 R7 R8	総務課
基本目標2 あらゆる分野における男女の参画促進【女性活躍推進計画】					
施策の方向1 行政における男女共同参画の推進					
各審議会等委員への女性の参画促進					
44	審議会等における女性委員の登用の促進	「鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、各審議会等における女性の登用率が30%以上になるように努めます。	各審議会等における委員の登用状況等を調査し、女性委員の登用率が低い審議会等には向上を図るための取組、検討を促した。 令和5年4月1日現在 各審議会等委員数 230人(うち女性委員数 61人 登用率 26.6%)	R4 R5 R6 R7 R8	総務課 各所属
施策の方向3 家庭や子育てにおける男女共同参画の促進					
ワーク・ライフ・バランスの啓発					
50	事業所等に対する広報・啓発	ワーク・ライフ・バランスに関連する情報を収集し、市内事業所等に対する広報・啓発を行います。	1 厚生労働省及び千葉労働局が作成したワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを市主要施設に配架した。また、鴨川市商工会を通じて会員事業所(1,012事業者)等へ配布した。 2 広く市民や事業者への周知・啓発を目的として、ワーク・ライフ・バランスに関するリーフレットを鴨川市の主要施設や鴨川市ふるさとハローワークへ配架した。	R4 R5 R6 R7 R8	商工観光課
男性の家事・育児・介護への参画促進					
51	男性の食生活改善事業	主に高齢男性の食の自立を目的として、健康づくりに関する知識や調理技術の向上に関する講習会等を実施します。	1 男性のための食育活動を食生活改善協議会に委託し、減塩の普及啓発や介護予防を中心とした講習会等を実施した。 男性の料理教室 (1)事業名 東条料理クラブ (2)開催回数 11回 (3)参加延べ人数 110人 (4)内容 調理実習等 2 男性会員を中心に任意団体として活動している食楽会において、介護予防に関する講話や身近な食材で手軽にできる調理実習を含めた講習会を実施した。 男性参加を主体とした料理教室 (1)事業名 食楽会 (2)開催回数 11回 (3)参加延べ人数 99人 (4)内容 調理実習等	R4 R5 R6 R7 R8	健康推進課

事業名		事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
52	パパママ学級の開催	男女が共に力を合わせて育児に参加できる社会づくりを促進するため、意識啓発と技術指導を兼ねたパパママ学級を開催します。	1 妊娠5～8か月の妊婦とその家族を対象としたパパママ学級を年3コース(1コース当たり5回開催)実施した。 参加者数 妊婦:実人数20人、延べ46人 夫:実人数18人、延べ29人 2 パパママ学級受講歴のある産後3～6か月の産婦と、その子どもや家族を対象としたパパママ学級同窓会を年3回実施した。 参加者数:産婦5人、夫1人	R4	健康推進課
				R5	
				R6	
				R7	
53	育児、介護等に関する講座等への参加促進	育児や介護等に関する各種講座等への男性の参加が促進されるよう、開催日時や講座のテーマ等について工夫します。	パパママ学級及びパパママ学級同窓会における講話の中で、夫婦相互の意見を聞き出し、父親の役割について話す時間と男性の育児参加について意識共有する時間を作った。夫(父親)の参加が増加傾向にあるため、講話の合間には父親同士のコミュニケーションが図られるよう働きかけ、交流支援を行なった。また、参加したすべての夫が妊婦体験をしてもらえるよう講話内容の工夫を行うとともに、仕事の都合で講話等に参加できない夫についても、個別に相談対応ができる体制を整備した。 (1)実施日時:木曜日又は水曜日、午後1時30分～午後4時 (2)講話内容:パパの妊婦体験、沐浴実習、お産の補助動作、赤ちゃんとのふれあい等	R4	健康推進課
				R5	
				R6	
				R7	
教育・保育事業の充実					
55	学童保育の充実	市内の留守家庭児童の健全育成と事故防止のため、学童クラブを運営する団体に補助金を交付するほか、運営支援を行います。	学童クラブを運営する6団体に補助金を交付した。 ・社会福祉協議会(4団体)、社会福祉法人(1団体)、保護者会(1団体)	R4	子ども支援課
				R5	
				R6	
				R7	
地域が一体となった子育て支援体制の充実					
60	ファミリー・サポートセンターの利用促進	子育てを支援したい人と子育て支援サービスを受けたい人の相互援助組織であるファミリー・サポート事業の周知に努め、その利用を促進します。	利用促進を図るため、提供会員の増加につながる勧誘や市広報誌へ年3回の掲載をすると共に提供会員向け説明会を行った。 ・会員登録 提供会員14人、依頼会員25人、両方会員1人 利用実績156件	R4	子ども支援課
				R5	
				R6	
				R7	
施策の方向5 雇用の場における男女の機会均等と待遇の確保のための環境づくり					
就職希望者に対する情報提供					
66	女性の再就職の促進	ハローワーク等の関係機関と連携し、女性の再就職希望者に特化した相談窓口を周知するとともに、職業訓練など、職業能力開発に関する情報の提供に努めます。	1 鴨川市ふるさとハローワークにおいて職業相談員による職業相談・職業紹介等を実施した。新規求職者数233件・職業相談数1,349件・職業紹介数579件・就職件数244件(令和5年4月から令和6年1月までの延べ件数) 2 館山公共職業安定所(ハローワーク館山)及びふるさとハローワーク、鴨川市との連携による就職相談会を開催した。8/4(木)、10/28(金) 3 市、ハローワーク館山、ふるさとハローワークと連携し、市内事業者を集めた就職相談会「わくWORK in鴨川」を鴨川市役所4階大会議室で開催した。12/12(火)相談者40人	R4	商工観光課
				R5	
				R6	
				R7	
R8					



事業名		事業内容	取組み状況	担当課による評価	担当課
施策の方向6 農林水産業・自営業における女性の地位向上の促進					
農林水産業における男女の経営参画の促進					
69	家族経営協定の締結の促進	認定農業者を対象とした研修等において、男女のパートナーシップの確立について啓発を行い、家族経営協定の締結を推進します。	認定新規就農者において、2件の家族経営協定(夫婦型)の締結に至った。	R4 R5 R6 R7 R8	農林水産課
基本目標3 男女が共に自立し、生涯を通して安心して暮らせる環境づくり					
施策の方向4 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立					
女性の参画など性差等に配慮した防災対策の推進					
93	防災対策における性差等への配慮	災害発生時における避難所での生活を想定し、独立した区画を設けるためのパーティションや生理用品、液体ミルクなど女性の視点を盛り込んだ物資の準備を行います。	独立した区画を設けるための避難用テントを各避難所へ配置するとともに、生理用品、液体ミルクを準備した。	R4 R5 R6 R7 R8	危機管理課

## 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果

## 男女共同参画週間における啓発の取組

## 1 趣 旨

国が定める「男女共同参画週間（毎年6月23日から29日までの1週間）」に合わせ、周知啓発活動の一環として市役所本庁舎に特設コーナーを設置し、男女共同参画社会の実現に向けた市民意識の醸成を図った。

## 2 期 間 令和5年6月23日（金）から29日（木）までの7日間

## 3 会 場 市役所本庁舎1階市政情報コーナー

## 4 時 間 午前8時30分から午後5時15分まで【6月27日（火）は午後7時まで】

## 5 内 容

- (1) 男女共同参画啓発ポスター、DV防止啓発パネルの展示
- (2) 第3次鴨川市男女共同参画計画（本編・概要版）の紹介
- (3) 男女共同参画及びDV対策に関する啓発グッズの配架

## 6 記録写真



# 男女共同参画パンフレットによる啓発の取組

## 1 趣 旨

コロナ禍の影響により、接触を伴う市内大規模店舗での啓発グッズの配布キャンペーンが実施できなくなったことから、これに代わる取組として啓発パンフレットを作成し、市政協力員を通じて回覧した。

また、若い世代への啓発を図るため、「二十歳の集い」の参加者に対し、啓発パンフレットを配付した。

## 2 取組内容

### (1) 市政協力員による回覧

- ・ 回覧日 令和5年10月15日(水)
- ・ 部 数 1,010部(市内全域)

### (2) 「二十歳の集い」での配付

- ・ 配付日 令和6年1月7日(水)
- ・ 部 数 201部(参加者)

## 3 令和5年度 鴨川市男女共同参画啓発パンフレット(A4判両面カラー)



(表面)

(裏面)

## 男女共同参画に係るセミナーの実施結果

### 1 趣 旨

男女共同参画社会の実現に向けて、固定的な性別役割分担意識等の解消及び男女平等意識の醸成を目的とした意識啓発を推進するため、千葉県職員を講師に迎え、市内中学生を対象とした男女共同参画セミナーを開催した。セミナー終了後、参加者の感想を求めるとともに、男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケートを実施した。

2 日 時 令和5年11月24日(金) 14:20~15:20

3 会 場 市立安房東中学校体育館

4 参加者 全校生徒、教職員など87人

5 テーマ 「男女共同参画について ~一人ひとりが幸せな社会のために~」

6 講 師 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 班長 市原 貴雄 氏

### 7 概 要

市原講師は、スライドやYouTubeを使い、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)をはじめ、SDGsとジェンダー平等の関わり、ワーク・ライフ・バランス、政策・方針決定過程への女性の参画などについて、現状と課題の取組を分かりやすく解説。「無意識の思い込みではなく、柔軟な考え方を持って、いろいろな人の意見を聞いて欲しい。」と伝えた。

また講師は、中学生に身近な問題としてDV(ドメスティック・バイオレンス)を取り上げ、「デートDVは、交際相手など、親密な関係にある人との間に起こるDVのことで、被害を受けた時は、様々な専門の相談窓口を利用して欲しい。」と呼びかけた。

セミナー終了後の生徒代表あいさつでは、生徒会書記の中村優樹菜さん(2年生)が、「自分も無意識の思い込みや固定観念を持っていると思いました。今日学んだことを、上の世代の人とも話していきたいと思います。」などと謝辞を述べた。

### 8 記録写真





## アンケート集計結果報告書

### 1 調査の目的

セミナーの参加者に対し、聴講後の感想を求めるとともに、男女共同参画に係る意識の現状を捉えるべく、アンケート調査を実施した。

### 2 調査の概要

- (1) 調査日：令和5年11月24日(金)
- (2) 対象者：安房東中学校1～3年生73名
- (3) 回収数：N(全体数) = 60名(回収率：82.2%)
- (4) 調査方法：セミナー終了後、生徒に回答してもらい回収した。

### 3 調査項目

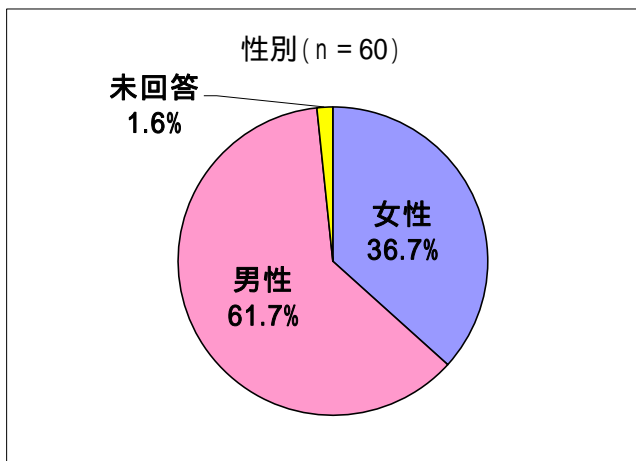
性別、「男女共同参画」、「DV」の言葉の認知度、家庭や学校における固定的な性別役割分担意識、性別の違いによる不平等、感想・自由意見など

### 4 集計結果 (小数点以下端数処理の関係で合計が100%とならない場合がある)

#### (Q1) 性別〔択一 n = 60〕

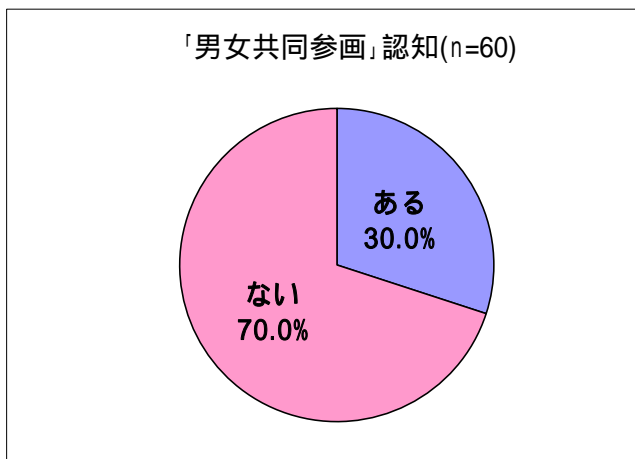
回答者の性別は、女性36.7%、男性61.7%、未回答1.6%となっている。

女性	22名	(36.7%)
男性	37名	(61.7%)
未回答	1名	(1.6%)



#### (Q2) 「男女共同参画」の言葉の認知度〔択一 n = 60〕

「男女共同参画」という言葉を聞いたことがあると答えた人が30.0%、ないと答えた人が70.0%となっている。

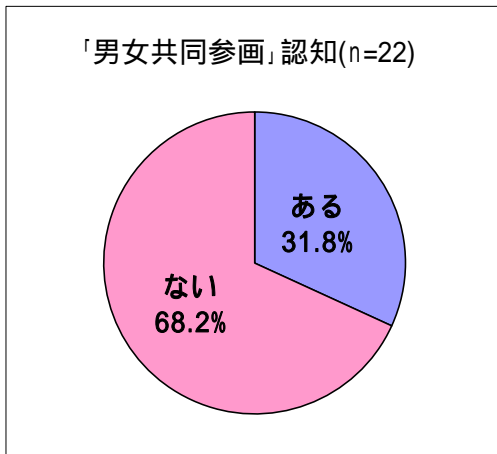


< 男女別の回答 >

女性

「ある」 7名 (31.8%)

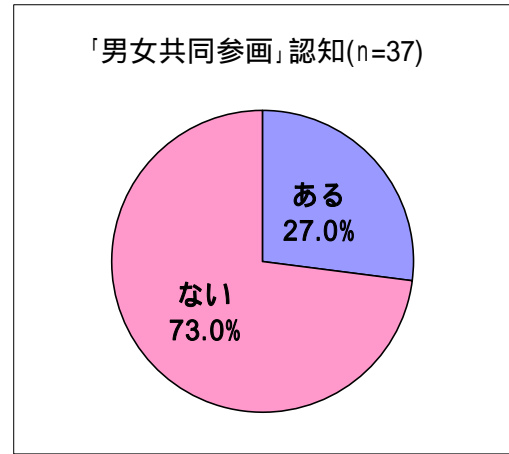
「ない」 15名 (68.2%)



男性

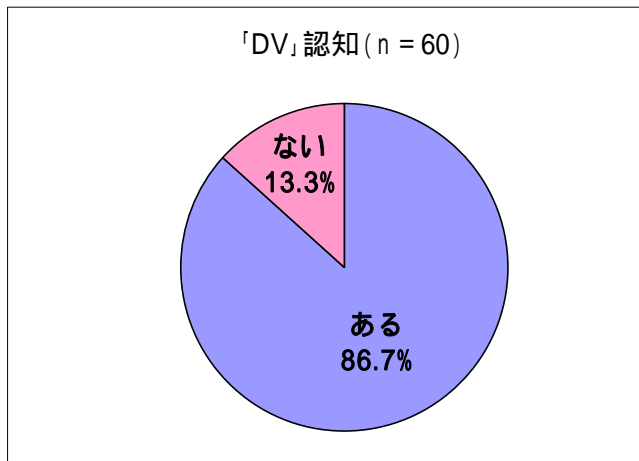
「ある」 10名 (27.0%)

「ない」 27名 (73.0%)



(Q3) 「DV」の言葉の認知度〔択一 n = 60〕

「DV」という言葉を聞いたことがあると答えた人が86.7%、ないと答えた人が13.3%となっている。

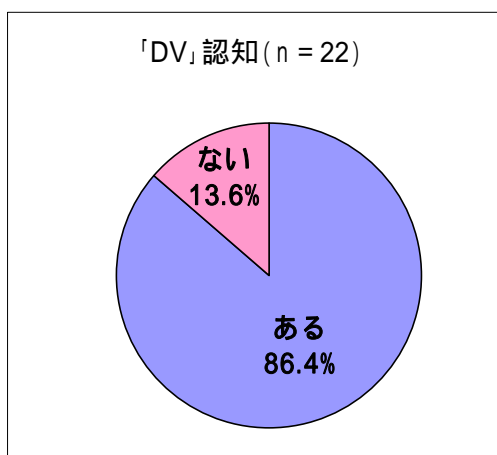


< 男女別の回答 >

女性

「ある」 19名 (86.4%)

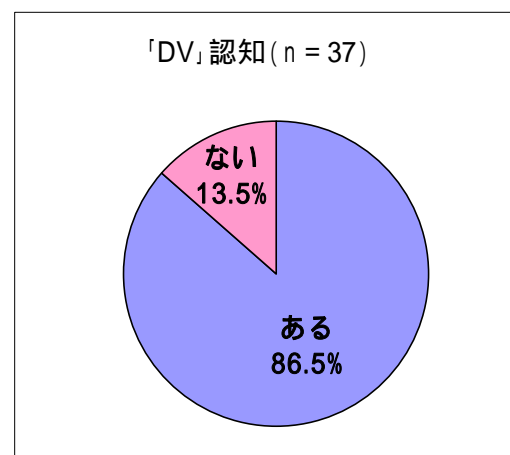
「ない」 3名 (13.6%)



男性

「ある」 32名 (86.5%)

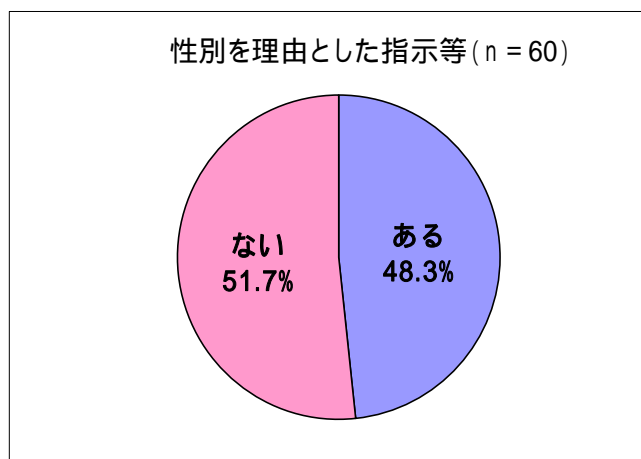
「ない」 5名 (13.5%)





( Q 4 - 1 ) 固定的な役割分担意識 [ 択一 n = 60 ]

家庭や学校において、性別を理由に指示を受けたり意見を言われたりしたことがあると答えた人が 48.3%、ないと答えた人が 51.7%となっている。



< 男女別の回答 >

女性

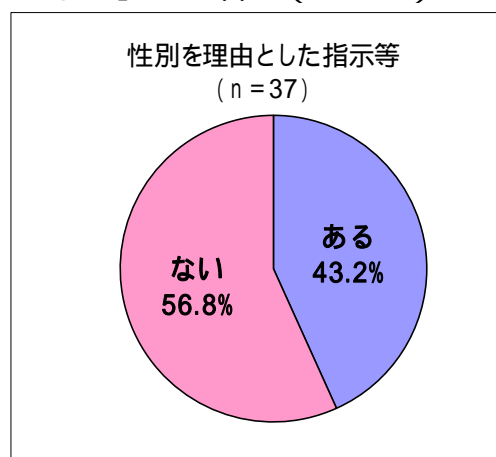
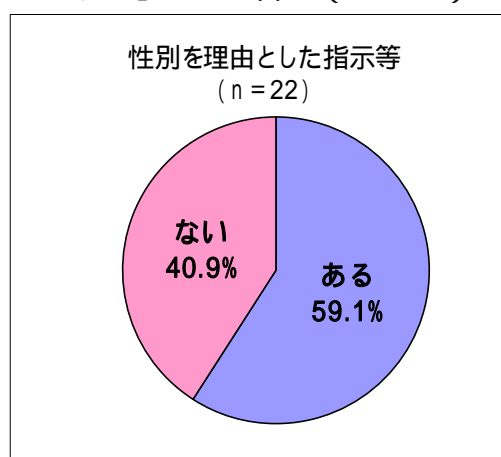
「ある」 13 名 ( 59.1% )

「ない」 9 名 ( 40.9% )

男性

「ある」 16 名 ( 43.2% )

「ない」 21 名 ( 56.8% )

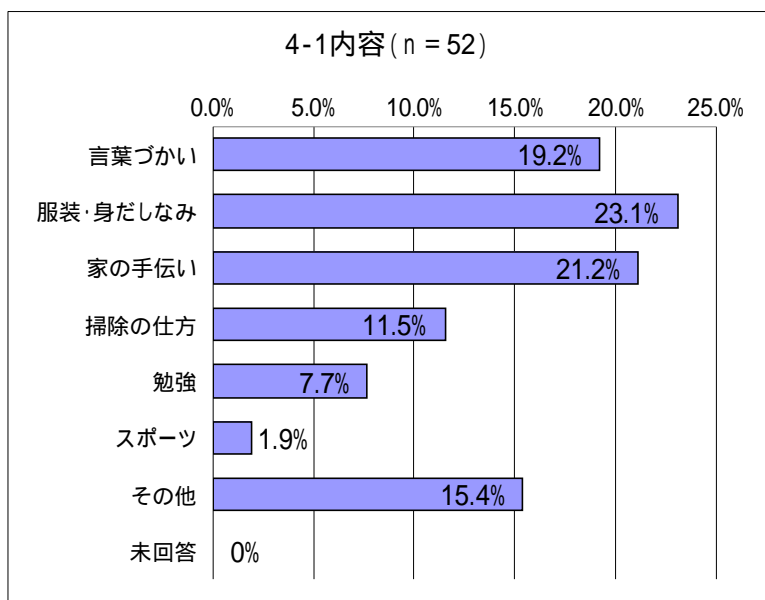


( Q 4 - 2 ) Q 4 - 1 の内容 [ 複数選択 n = 52 ]

Q 4 - 1 で、「ある」と答えた人のうち、その内容について、「服装・身だしなみ」が 23.1%、次いで「家の手伝い」が 21.2%、「言葉づかい」が 19.2%、となっている。

言葉づかい	10 件	( 19.2% )
服装・身だしなみ	12 件	( 23.1% )
家の手伝い	11 件	( 21.2% )
掃除の仕方	6 件	( 11.5% )
勉強	4 件	( 7.7% )
スポーツ	1 件	( 1.9% )
その他	8 件	( 15.4% )





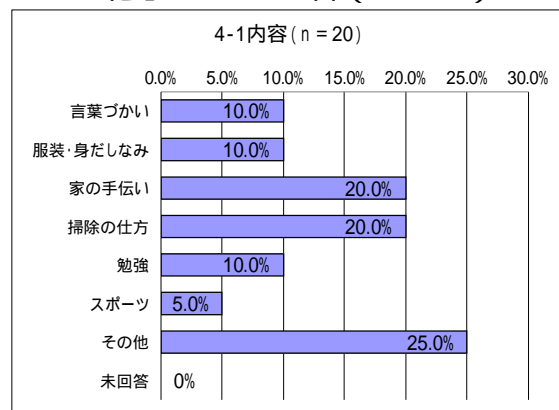
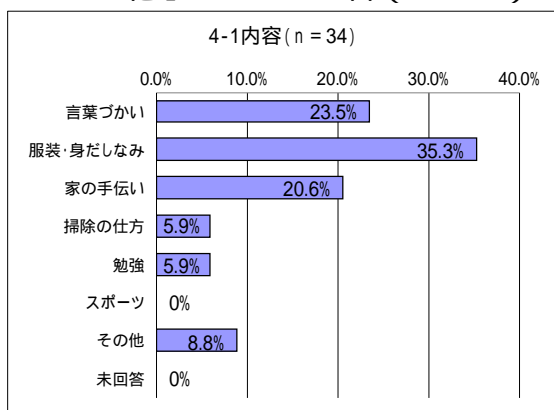
< 男女別の回答 >

女性

「言葉づかい」	8名 (23.5%)
「服装・身だしなみ」	12名 (35.3%)
「家の手伝い」	7名 (20.6%)
「掃除の仕方」	2名 (5.9%)
「勉強」	2名 (5.9%)
「スポーツ」	0名 (0%)
「その他」	3名 (8.8%)

男性

「言葉づかい」	2名 (10.0%)
「服装・身だしなみ」	2名 (10.0%)
「家の手伝い」	4名 (20.0%)
「掃除の仕方」	4名 (20.0%)
「勉強」	2名 (10.0%)
「スポーツ」	1名 (5.0%)
「その他」	5名 (25.0%)



( Q 5 ) 性別の違いによる不平等 ( 抜粋 )

女性

- ・制服があたりまえのようにスカートにされた。
- ・女子だから料理ができてあたりまえと言われた。
- ・女の子なんだから手伝いをしなさい、身だしなみをきちんとしなさい、きれいな言葉を使いなさいと言われた。
- ・学校で名前を呼ぶとき、男子は「くん」で女子は「さん」呼びなこと。
- ・女子の髪型はボブかロングといった固定概念。

男性

- ・女の子にはやさしいが、男の子にはきびしい。

- ・男なんだから力仕事をやってと言われたり、男子だからの理由で仕事をおしつけられて不平等。
- ・性別による部活の制限。
- ・かわいいものを買ったら、かっこいいものにしなさいと言われた。
- ・女子が泣くと皆哀れむが、男子が泣いても哀れみが少ない。相手の女の子が泣いているだけで、勝手に加害者だと決めつけられる。

( Q 6 ) 男女共同参画社会の実現に必要なこと ( 抜粋 )

女性

- ・見た目で判断しないこと
- ・互いにその人権を尊重しつつ、意見や責任を分かち合えるように、今後、気をつけたいと思いました。
- ・気づかないうちに勝手に差別しちゃうことがあるので、男女関係なく自由に生きていきたいと思います。
- ・男女の偏見や思いこみなどをなくしていくことが必要だと思います。
- ・男女で服装を分けたり、色を分けたりするのをやめれば、少しはいいのかなと思いました。
- ・男女関係なく、自分の好きなものを好きと言えるように、これから自信を持って生活していきたい。
- ・無意識のうちに働いている固定概念をなくして、どんな仕事や役割も、やりたい人がやればいいし、「男性だから」「女性だから」で縛らない世界ができたらいいなと思う。
- ・自分の勝手な偏見で差別をしない。
- ・性別で分けることをやめる。
- ・男子だから・女子だからという固定概念をへらしていきたい。今後、自分は好きなものを好きと言いつけたい。

男性

- ・男子はこう、女子はこうという偏見を捨てる必要があります。
- ・男女共同参画について、みんなが知っていることが大切だと思う。自分は異性に対して、固定の考えをもたないで生活していきたい。
- ・女の子だから、男の子だからという概念をなくす。
- ・今日のようなこういう活動をすることで、より多くの人が男女共同参画への意識が高まり、平等になっていくと思います。
- ・まず自分の身の回りから少しずつ改善していき、それを少しずつやることで、男女共同参画社会が実現できると思う。
- ・一人ひとりが男女共同参画への理解を深めて、学校や施設などへ男女共同参画を発信したらいいと思う。
- ・向き、不向き関係なく、お互いの好きなことを尊重することが必要だと思った。
- ・人々が人の個性を理解する必要があります。
- ・家事、育児に費やす時間を男女平等にする。政治に女性も参入しやすくする。

- ・意識を変えていくこと。バイアスがつかからないようにすること。

( Q 7 ) 感想・自由意見 ( 抜粋 )

女性

- ・男女共同参画セミナーということを知り、あまり分からないけど、男女の差別のことについて分かりました。
- ・勝手に差別などを気づかないうちにやってしまうことがよくないと思いました。今日のセミナーでたくさんのことを学びました。
- ・ビデオを見て、自分が好きなことをまわりを気にせず続けることは大切だと思いました。
- ・私は今日のセミナーで、ジェンダー平等の大切さについて学びました。ジェンダー平等にするためにどのような活動をしたらいいのか、クラスや学校で話し合うのも一つの手だと思いました。
- ・改めて自分がどれほど固定概念にとらわれていたかわかった。分かりやすく話していただいて、ありがたかった。
- ・今回、男女共同参画についての話をきいて、私は男子と女子関係なく、色々なことが出来る社会になればいいなと思いました。
- ・自分も無意識に、「男子はこうあるべき」「女子はこうあるべき」と考えていたことに気づいたので、今日学んだことを意識して生活していきたいです。
- ・私たちよりもっと上の世代の方々にも、ジェンダー平等を理解してほしいなと思った。
- ・自分も含めて、一人ひとりが日常的にしみついた固定的な考えを無くさなければならぬと思った。
- ・男性や女性に対する固定概念を、改めて知ることができた。子育てに対する女性と男性の違いも知ることができた。SDGsの一つにあるように、男女が平等になってほしいと思った。

男性

- ・世界には、性差別で苦しんでいる人がたくさんいる事が悲しかった。男女関係なく、良い所がいかせる場所があると良いなと思った。
- ・DVのことやワークライフバランスなど、色々なことについて学びました。
- ・男女共同参画という言葉を知った。自分も偏見などしてしまっていることがあるかもしれないから、意識して生きていきたい。
- ・自分はこれまで性別に対する様々な偏見を持っていることに気づくことができました。
- ・男女共同参画社会を理想とするのは良い事だと思う。しかし、皆が平等という考えを当たり前で生活するには、まだ時間がかかると思った。
- ・今日習ったことをこれから意識していき、世の中が平等になるよう、自分からも教えていきたいと思った。
- ・知らない単語も出てきて勉強になった。これから固定的な先入観をもっと無くしたい。

- ・DVという言葉は聞いたことはあったが、意味は知らなかったので知れてよかった。これからの生活で平等を意識して、会話や行動をするようにしたい。
- ・自分が知らなかったことが分かったり、「男の子なんだから」「女の子なんだから」と我慢しなくていいことに気がつき、気が楽になりました。
- ・確かに自分の中に思いこみがあった。そういった無意識的なところに気づくことができる有意義な時間になりました。

# 令和5年度活動報告書(抜粋)

資料4

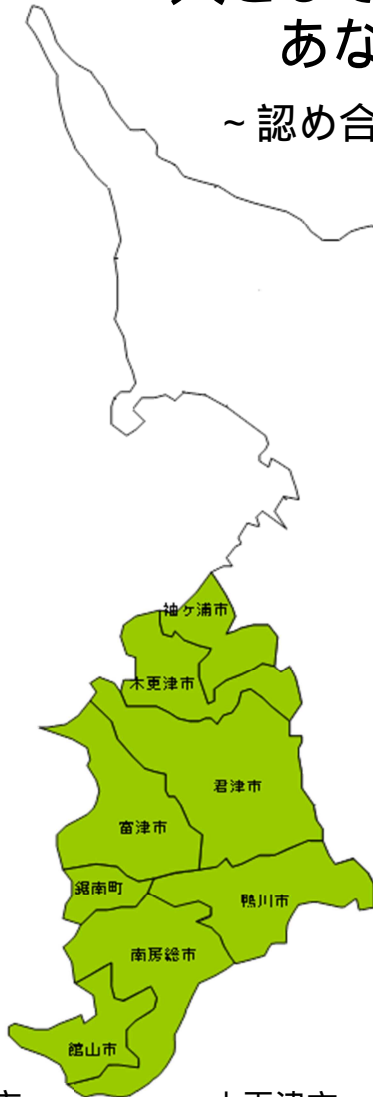
人として 私らしく  
あなたらしく

～認め合いと思いやり～

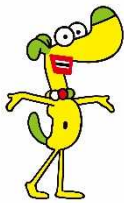
## 南房総地域男女共同参画セミナー



令和5年12月21日(木)  
袖ヶ浦市立昭和中学校  
「生徒とともに  
身近な男女共同参画を考える」



館山市



studio crocodile・館山市  
館山市マスコットキャラクター  
【ダッペエ】

木更津市



マスコットキャラクター  
【きさポン】

鴨川市



イメージキャラクター  
【たいよう君・まっぽー・  
ななちゃん】

君津市



君津市マスコットキャラクター  
【きみびょん】

富津市



おもてなしキャラクター  
【ふつつん】

袖ヶ浦市



マスコットキャラクター  
【ガウラ】

南房総市



イメージキャラクター  
【みなたん】

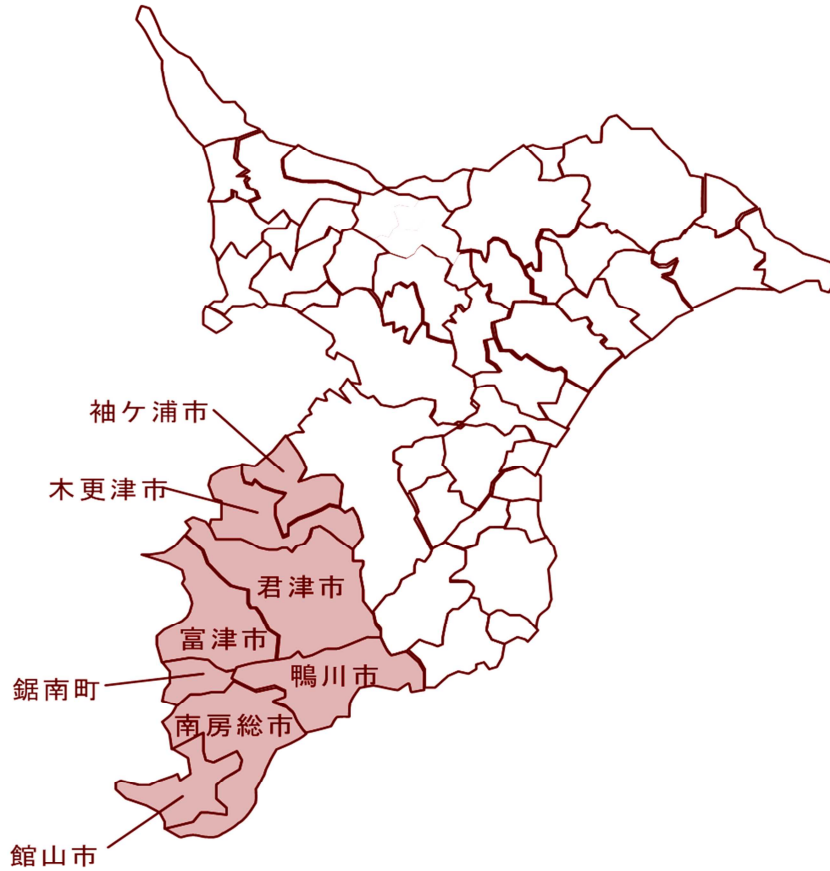
鋸南町



イメージキャラクター  
【みかえりちゃん】

千葉県男女共同参画地域推進員(南房総地域)

## 南房総地域



### 地域推進員

5市町（9名）

リーダー

サブリーダー

青木 鉄弘（館山市）

吉田 育世（館山市）

小山 百合子（木更津市）

浅沼 紀子（鴨川市）

重永 あずさ（富津市）

小倉 正敬（袖ヶ浦市）

安田 紀美子（袖ヶ浦市）

渡 ひとみ（鋸南町）

鈴木 正一郎（鋸南町）

### 市町職員

當麻 康代（館山市）

松木 貴史（木更津市）

山口 隆司（鴨川市）

若竹 裕美（君津市）

神子 裕美（富津市）

依知川 清楓（袖ヶ浦市）

佐藤 砂織（南房総市）

鈴木 潮音（鋸南町）

## 令和5年度千葉県男女共同参画地域推進員 (南房総地域)活動記録

	月日	名 称	会 場	内 容
1	4/28 (金)	第1回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 2階 多目的ホール	(1)新規担当職員自己紹介 (2)令和5年度会議の開催日程について (3)令和5年度事業について (4)令和5年度年間活動予定について
2	5/31 (水)	全体研修会	千葉県男女共同参画センター 3階 会議室	(1)講演「地域で男女共同参画の啓発・普及 に取り組む」 講師 田頭あやこ氏 (2)交流会
3	6/23 (金)	第2回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 201会議室	(1)寸劇の配信について (2)新規事業提案について
4	7/19 (水)	中学校打合せ	富津市立天羽中学校	
5	7/28 (金)	第3回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 201会議室	(1)新規事業について (2)寸劇シナリオ読み合わせ
6	8/24 (木)	中学校打合せ	袖ヶ浦市立昭和中学校	
7	9/7 (水)	中学校打合せ	富津市立天羽中学校	
8	9/22 (金)	第4回地域推進員会議	富津市役所 5階 502,503会議室	(1)天羽中学校セミナーについて (2)昭和中学校打合せ結果報告 (3)寸劇リハーサル
9	10/27 (金)	第5回地域推進員会議	ZOOM開催	(1)役割分担 (2)集合時間等確認
10	11/24 (金)	第6回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 201会議室	(1)寸劇リハーサル (2)事業報告会等の役割分担
11	12/15 (金)	<b>【インフルエンザ流行のため中止】中学校出前セミナー（講演）</b> <b>「みんなちがって、みんないい ～アンコンシャスバイアスから考える～」</b> <b>富津市立天羽中学校体育館</b> <b>講演とグループワーク</b>		
12	12/21 (木)	<b>中学校出前セミナー（寸劇）</b> <b>「生徒とともに身近な男女共同参画を考える」</b> <b>袖ヶ浦市立昭和中学校体育館</b> <b>寸劇の上演と解説</b>		
13	1/26 (金)	第7回地域推進員会議	ZOOM開催	(1)活動報告書の修正 (2)事業の振り返り
14	2/22 (木)	第8回地域推進員会議	君津市生涯学習交流センター 2階 多目的ホール	(1)活動報告書の修正確認について (2)事業報告会のリハーサルについて
15	3/14 (木)	事業報告会	千葉市生涯学習センター	



## 袖ヶ浦市立昭和中学校 セミナーの概要

昭和中学校の600名近い全校生徒の意欲的な態度が良かったです。態度は、無駄口一つなく、整然として立派でした。又、昭和中学校の先生方もとても協力的で、感動しました。筆者も、昭和中学校の旧教職員として誇りに思います。

今回、多感で最も吸収力のある中学生に「男女共同参画」という中学生にはなじみのない言葉を、身近な事例を題材に分かり易く伝えようと、「劇団なのはな」の演技で「生徒と共に、身近な男女共同参画を考える」を掲げ、4つの場面に分け、それぞれお伝えしました。

場面	テーマ	取組内容	基になった法律
1	家事の役割分担	家庭内の男女共同参画を考える。	男女共同参画社会基本法第6条
2	中学生の進路	皆さんの進路はどのように考えていますか。	同法第4条
3	トイレ掃除	トイレ掃除に対する男女の取り組み方の違いについて。	同法第4条
4	デートDV	男女交際の在り方を考える。	同法第3条



【生徒会の指揮で整列する生徒たち】



【校長先生による開会の御挨拶】

場面1は、「家事の役割分担」が題材です。フルタイムで働くお母さんが帰宅して直ぐ夕飯の支度に取り掛かりますがお風呂から上がってきた大工のお父さんが、「お母さん、ビールとつまみ」と一言。「自分で取りに行けば」と反論する娘に対し、おばあさんが「女が家族の世話をするのは当たり前」とお父さんの味方をしました。

「劇団なのはな」は、素人とは思えない見事な演技でした。



場面2は、「皆さんの進路はどのように考えていますか?」という題材です。パイロットになりたい女子生徒、看護師になりたい男子生徒。それに対して別の男子生徒は「それは男性の仕事、それは女性の仕事」と批判的な意見を。「これからは男女に関係なく誰でも好きな仕事に就けたらいい」という女子生徒。この仕事はどの性別という垣根を考えさせられる題材でした。

出演して頂いた生徒役の昭和中学校の山口教諭のスケールの大きい演技が光りました。

場面3は、「トイレ掃除」が題材です。女子は男子より掃除が上手で得意、きれいなのが当たり前、と言う先生。男子トイレの方がきれいと言われ、女子はびっくり。しかし、男子生徒たちは掃除分担を決めて喋らずに掃除に打ち込んでいました。女子はお喋りしながらだったので、しょうがないですね。

場面4は、「デートDV」が題材です。

ガールフレンドは、自分のボーイフレンドが他の女子生徒と喋ることに怒っています。「私だけを見て欲しい」のはとっても良く分かるのですが、ボーイフレンドからスマホを取り上げ、アドレスデータを消してしまう始末。愛の勘違いを学んでもらいました。

出演して頂いた夏子役の昭和中学校の渡辺教諭の演技が光りました。真に迫ってとても良かったです。



【場面1 家事の役割分担】



【場面2 みんなの進路はどのように考えていますか?】



【場面3 トイレ掃除】



【場面4 デートDV】

場面2と4では、昭和中学校の先生に出演していただき、生徒たちと壇上の方に一体感を生んでいただきました。

各場面終了後に、生徒たちがどう考えているのか、YES(赤)とNO(青)の紙を使って意見を聞いてみました。



【ブルーとピンクの紙で意思表示する生徒たち】

場面ごとにピンクと青の紙が混じり、同じ題材でも各個人の意見や育った環境の違いにより、捉え方や考え方が違ってくるのだと、読み取れました。

参加型の寸劇事業は、生徒たちに「男女共同参画」という言葉を身近に感じてもらい、「こんな場面も男女共同参画の事例になるんだ」と、強く印象に残ったと思います。

これからの未来を生きる感受性豊かな中学生にとって、男女が協力して共に生きることを考える機会は、これからますます重要になってくると思います。

固定概念が形成されていない成長過程の中学生にこそ、男女の置かれている環境を考え、自分の人生でどのように男女が関わるべきか、考える時間は貴重なものになるでしょう。

多くの方の御協力を得て、この度の寸劇事業を実施できました。昭和中学校の関係者の方や生徒の皆さん、そして、スタッフが一体となつての寸劇事業でした。昭和中学校の関係者の方の賛同を心から感謝します。

(記録：小倉正敬)

